

笑顔とがんばりの町

おのまもち

議会だより

定例会3月会議

◇平成26年度各会計当初予算、
平成25年度各会計補正予算、
条例の一部改正、人事案件などを議決

◇4人の議員が一般質問
(小学校統合、土地利用計画、右支夏井川河川改修、
企業誘致雇用対策などについて)

5月第1回会議

◇小野町税条例等の一部改正、
平成25年度一般会計補正予算の専決処分報告
◇議員提出議案の議決



がんばれ～! 元気に応援 —— 浮金小学校運動会

定例会3月会議

3月6日～3月14日

平成26年小野町議定会定例会3月会議は、3月6日から3月14日まで9日間の日程で開かれました。
 会議では、平成25年度各会計補正予算、平成26年度各会計当初予算、条例の一部改正11件、副町長選任の同意、教育委員会委員任命の同意、小野町道路線の認定、議員提出議案2件など、36議案について原案のとおり可決しました。
 また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

人事案件

副町長の選任に同意



すずきしんや ▲鈴木慎也氏

昨年の4月から空席となっていました副町長に鈴木慎也氏(県派遣)を選任することに、全員賛成で同意しました。
 (4月1日から副町長に就任)

教育委員任命に同意



にしまきゆうじ ▲西牧裕司氏

教育委員会委員に西牧裕司氏を任命することに、全員賛成で同意しました。
 なお、西牧氏は4月2日の教育委員会で教育長に互選され、同日就任しました。

陳情の審査結果

定例会3月会議では4件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
二級町道大倉線の拡幅改良整備について	大八行政区長 先崎 文男	採択
小野新町字大久保地内～大倉地内水路の整備促進について	大八行政区長 先崎 文男	採択
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会 議長 横田 登	採択
不安定雇用の是正を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会田村地区連合会 議長 横田 登	採択

議員提出議案の審査結果

陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

議案名	提出者	審査結果	提出先
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	籠田良作議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣 ほか
不安定雇用の是正を求める意見書	宇佐見留男議員	全員賛成で可決	衆議院議長 ほか

意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる(地方自治法第99条)」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会に認められている権限です。

平成26年度当初予算を可決

一般会計45億6,000万円

平成26年度当初予算は下の表のとおり、全員賛成で可決しました。
 一般会計予算の内容は、昨年度に引き続き、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興を最重要・優先課題として位置づけ、町民が安全で安心して暮らせる町の実現を目指すとともに、企業誘致や子育て支援事業など定住人口増加につながる施策に優先的に予算の配分がなされました。

平成26年度当初予算(千円)

会計区分	当初予算額	前年度との比較
一般会計	4,560,000	220,000(↑増)
特別会計	国民健康保険	27,000(↑増)
	後期高齢者医療	9,000(↑増)
	除染対策事業	281,000(↑増)
	介護保険	107,000(↓減)
	介護保険サービス事業	100(↑増)
	浄化槽整備推進事業	11,000(↓減)
	文化・体育振興基金	109(↑増)
水道事業会計	収益的収入	10,921(↑増)
	収益的支出	7,607(↑増)
	資本的収入	30,032(↑増)
	資本的支出	52,151(↑増)

一般質問

3月7日

水野正廣議員、会田明生議員、籠田良作議員、竹川里志議員が
町政各般について質問を行いました。

就学前子供の支援策について

多子世帯を含め保護者全体の経済負担の軽減を図り、若者世帯の人口流出に歯どめを

幼・保教育について

多子世帯を含め保護者全体の経済負担の軽減を図り、若者世帯の人口流出に歯どめを

幼・保教育施設整備について

幼保一体化施設の整備

多子世帯を含め保護者全体の経済負担の軽減を図り、若者世帯の人口流出に歯どめを

小学校統合の現状について

小学校を1校に統合する

平成18年8月策定の小野町教育環境整備基本方針によると、10年以内を目標に町内6

広域行政について

1市2町の枠組みで検討すべき



水野正廣 議員

ゴミ処理問題について町長の考えを伺いたい

平成26年度から、ごみ収集運搬業務は、構成市町(田村市・三春町・小野町)に移管され、町で収集運搬業務を行うこととなりました。また、我が町には、焼却場の施設も公的な一般廃棄物最終処分場もありません。このような状況下、今後のごみ処理問題の方針について伺いたい。

また、ごみの中間処理及び最終処分については、施設の更新建設並びに運営形態について、田村広域行政組合の構成員として1市2町の枠組みで検討すべきと考えています。

かけるうえでも保育料の無償化を検討すべきではないか。

備については、建設候補地を平成24年度から町内数カ所を選定し、土地利用の現況、接続道路の状況などについて比較調査を行い検討されていますが、最終的な絞り込みには至っていません。待機幼児、保護者の立場から、幼保一体化施設の整備に向けて、専門プロジェクトチームを設置し、建設候補地を絞り込み、施設整備の計画を進めるべきと考えますが、町長の考えを伺いたい。

幼児教育環境の整備に向けてソフト、ハード両面での検討を進める

平成24年度より

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

多様な保育ニーズに

平成26年 小野町議会5月第1回会議

5月9日に平成26年小野町議会5月第1回会議を開催し次の議案を議決しました。
また、小野町税条例等の一部改正、一般会計補正予算の専決処分について、町長から4件の報告がありました。

◆議員提出議案第3号(議員派遣について)

小野町議会会議規則第127条により議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて、提案したものです。

◆専決処分の報告

- ・報告第1号 平成25年度小野町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告について
- ・報告第2号 小野町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- ・報告第3号 小野町税特別措置条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- ・報告第4号 小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

村上議長と久野副議長に自治功労者表彰

田村地方町村議会議長会自治功労者表彰



表彰を受けた久野副議長と村上議長(左から)

2月28日、小野町多目的研修集会施設において平成25年度田村地方町村議会議長会自治功労者表彰式が行われ、村上議長と久野副議長に表彰状が授与されました。

この表彰は、町村議会議員として10年以上在職し、地方自治への功績が認められた方に授与されます。

を的確に捉え、将来を見据えて基本方針を早急に見直し、決定、実行すべきと考えますが、町長の考えを伺いたい。

保護者・地域住民の意見を踏まえ判断したい

町長 現在の教育環境整備の基本方針の策定から、相当期間が経過し、教育環境を取り巻く状況変化や様々な要因から、教育委員会においても教育環境

温浴施設について

「ゆ〜ゆ〜こまち」の現況と経過について

問 町営施設の「ゆ〜ゆ〜こまち」の現況と経過について伺いたい。

利用者が増加で推移健康福祉課長

老人憩いの家たかむら荘(愛称「ゆ〜ゆ〜こまち」)は昭和50年5月の設置以来39年間にわたり、高齢者の方々に温浴サ-

整備の基本方針の見直し議論検討されています。

今後、教育委員会で見直し結果も踏まえ、小学校の統合、施設の整備など教育環境を取り巻く施策について、子供たちに最良の教育環境を提供すること、保護者、地域の方々のご意見などを議論の中心に据え、判断してまいりたいと考え

ています。

ビスを提供してまいりました。平成20年度には、老朽化に伴い、内装浴室などの大規模改修事業を実施し、また合わせて利用時間やレクリエーション設備などの見直しも図りました。

利用者数については大規模改修前は年間平均6,500名程度でありましたが、改修後は平均1万人前後で推移し

ており、一定の成果が認められている状況であります。

温浴施設の建て替え検討について

問 修繕を繰り返したし規模改修も行ったとしても、今年で築39年であり、また東日本大震

災の影響から、構造的にはかなりのダメージを受けていると思われる。また、高台にあるため高齢者が利用するには大変な状況であります。公衆が利用する場所でありますので、構



▲温浴施設「ゆ〜ゆ〜こまち」

新たな温浴施設の設置検討を進める

町長 設置場所が高台であり、悪天候の際は利用者の方々に大変な不便をおかけしている状況であります。また、建物の構造的な問題については、公共施設として強度の確認も必要と考えます。

「ゆ〜ゆ〜こまち」の利用時間の延長について

問 「ゆ〜ゆ〜こまち」の利用時間は9時から18時までであります。18時までとなりまして、仕事帰りに利用することができない方もいると思います。利用時間の延長を検討してはと考えますが、町長の考えを伺いたい。

を継続してまいります。新たな温浴施設の設置のあり方も検討する考えであります。

利用時間の延長を含めた利便性の向上を図る

町長 町民の健康増進のため、より多くの方々に利用していただきたいと考えられています。今後検討を始めます。温浴交流複合施設の関係や指定管理者による運営方法も視野に入れないながら、利用時間の延長を含めた利便性の向上を図ってまいりたいと考えています。

病院の周辺整備について

新設病院の周辺環境整備について

問 新設病院の建設とともに、周辺環境の整備について伺いたい。

町長 新病院へのメインアプローチとなる前面道路の県道小野郡山線については、一般車両の円滑な通行、歩行



▲右折レーン設置計画のある県道小野郡山線

者の安全確保のため、福島県により右折レーンの設置が現在計画されています。また、病院建設敷地の東側には、職員駐車場の整備が計画されております

ので、車両交差等に支障のないよう、病院当局や病院議会とも連携協議し、関連する道路等の整備を進めてまいります。



会田明生 議員

行政需要課題への対応について

東日本大震災からの復興や多様化する行政課題に対応する組織は、どうあるべきか

問 町の抱える様々な課題や行政需要に的確に対応し、即応できる質の高い行政運営あるいは経営感覚を備えた町にするために必要な組織機能とはどうあるべきか、町

長の考えを伺いたい。

効果的で弾力的な組織の完成に取り組み

町長 これまで、煩雑で多様化する行政ニーズに対応するため、重要な施策を実施する場合、組織の一部見直しや事務事業の見直しを行い対応してまいりました。

今後は抜本的な事務事業の見直しを行い、民間活力を段階的に取り入れるとともに、社会情勢に合わせた組織機構の見直しを行い、効果的で弾力的な組織を完成させ、町が抱える諸課題等の解決に取り組んでまいります。

財源確保は、どうあるべきか

問 行政需要が年々増加する半面、収入の伸びが期待できない厳しい状況の中、財源確保はどうあるべきか伺いたい。

自主財源の確保に努める

町長 各種施策を実施していくためには様々な手段で資金を確保する必要があります。平成26年度においては国・県の補助事業に積極的に取り組む一方で、「コンビ二収納業務を町民税や固定資産税、保育料などに拡大させ、町民の利便

性と収納率の向上を図り、自主財源の確保に努めてまいります。

職員個々の能力を發揮できる環境づくりは、どうあるべきか

問 質の高い行政運営のためには、組織としての目標を共有することとはもちろんでありますが、個々の職員の個性を伸ばすとともに、知識や情報を知恵に変え、施策、事業に反映していく仕組み、環境が必要と考えますが、町長の考えを伺いたい。

職員個々の自己啓発を促し、士気の高揚を図る

町長 職員は、各部署において、それぞれ専門的な知識と経験を積んでおり、町の重点施策や各課横断的な施策に対し、必要に応じてプロジェクトチームの立ち上げや職員アンケートなどを実施し、職員の意見を精査し

ながら行政施策へ反

映させていきたいと

考えています。

また、職員個々の自己啓発を促し、士気の高揚を図り、職員の持っている力を100%引き出せるように、そして町民サービスに貢献できるようにしていきたいと考えています。

事務・事業の再構築と民間委託の推進

振興計画に記載してあるように事務事業、公共施設の管理運営と行政サービスの向上、行政評価の導入、民間委託の推進に努める必要があると思います。限られた人材と財源の中で、真に必要な行政サービスを提供していくためには、事務事業の再構築と民間委託の推進が必要

と思いますが、町長の

考えを伺いたい。

民間委託は費用対効果を確保しながら積極的に進める

町長 これまでも予算編成等を通じて、町振興計画との整合性を図りつつ行政効率、効果等について検証を行っています。更には事業の必要性について優先順位をつけて施策の選択と重点化を図っているものがあります。

また、民間委託の進捗についても限られた人材と資金の中で、公共サービスの向上や町民の新たな雇用機会の創出につながるものもあります。コストや効率性など費用対効果を確保しながら、積極的に進めてまいりたいと考えています。

政策提案制度の創設について

住民からの政策提案の制度を創設してはどうか

町長 町の様々な課題の解決策を見出ししていくには、地域の力を結集していくことが重要と考えられます。おのまち夢企画提案制度をさらに発展させ、様々な行政課題に対し政策として提案できる制度を創設してはと思います。が、町長の考えを伺いたい。

おのまち夢企画提案制度を活用

町長 おのまち夢企画提案制度では、これまで様々なご提案をいただき、まちづくりに役立させていただきました。新たな町民の方々の政策提案については、現在の政策提案制度の夢企画において、様々な行政課題に対応した形でご提案がいただけるよう工夫しながら募集してまいります。

土地利用計画の策定について

将来を見据えた土地利用のあり方を計画として定めてはどうか

町長 町の土地利用に関する計画は、都市計画区域においては、田村東部都市計画区域マスタープラン、農業振興地域においては、小野町農業振興地域整備

計画が定められていますが、総合的な町の土地利用を定めた計画書がありません。町の発展のためには、将来を見据えて、産業、経済的な土地利用、居住環境など、調和のとれた計画的な土地利用を定める必要があると

思います。町長の考えを伺いたい。

町の土地利用のあり方などについて検討する

町長 近年の急速な少子高齢化の進行や消費生活の変化などや地域の実情に応じたまちづくりを進めるために

消防団員の費用弁償の拡充について

消防団員が火災等で出動した際に、出動手当を支給してはどうか

町長 消防団員への出動手当は、条例により出初め式、春、秋の検閲、規律訓練及びポンプ操法に出動したときに限られ、消防活動等の緊急時の出動は対象となっておりません。消防団員が、火災等で出動した際にも出動手当を支給するべき

郡山地方広域消防組合の構成市町等の状況も確認しながら検討する

町長 消防団は、町民の生命と財産を守るため、いつ何時でも出動し、様々な活動を行っており、地域防災の要として、消防団に対する期待は大きなものがあります。その活動に対し、最大限の配慮をし、消防活動に心した適正な報酬及び費用弁償を支給するため、その支給額、支給方法等については郡山地方広域消



▲放水訓練を実施する小野町消防団

防組合の構成市町等の状況も確認しながら、

検討してまいります。

町長の政治姿勢について

答弁に対する責任と執行管理について

町長 定例会における一般質問の機会は、公の場で議員が町政全般につ

いてその執行の状況、または将来の方針等を執行者に直接ただす場であります。町長、教育長、課長等は議員の質問に対し答弁しておりますが、その後の展開が見えないものも見受けられます。答弁した内容には、責任とその後の執行、進捗状況を管理する必要があると思います。町長の考えを伺いたい。

検討状況や検討結果を報告する

町長 答弁に対し町長には責任がありますし、検討の進捗状況や結果を報告することは、当然のことだと考えています。今後は、機会あるごとに検討状況や検討結果についてご報告いたします。

町長 河川改修に伴う地権者会の設立については、町が積極的に地権者会設立の音頭をとり、早期設立を進め、協力体制を整えることが大切だと考えております。町では、地権者等の要望のとりまとめや事業推進のための協力体制の確立を図るため、連絡会の設立について事業説明会で協議し

早期設立に向けて努力する

町長 河川改修に伴う地権者会の設立については、町が積極的に地権者会設立の音頭をとり、早期設立を進め、協力体制を整えることが大切だと考えております。町では、地権者等の要望のとりまとめや事業推進のための協力体制の確立を図るため、連絡会の設立について事業説明会で協議し



籠田良作 議員

右支夏井川河川改修事業について

改修に伴う地権者会の設立について

町長 河川改修事業を円滑に進めるためには、

地権者皆様方のご協力が絶大であります。本町地区の地権者の方も地権者会をつくり

という機運があります。行政が全面的に出るのではなく、地権者会設立の準備の音頭をとり、県の情報をいち早く知らせることが円滑なる事業遂行に寄与するのではないかと考えます。地権者会の設立は本町行政区だけではなく、横町と荒町の両行政区の方も望んでいることではないかと推測しますので、各行政区に出向き設立のお願いをしてはどうか。

町長 右支夏井川河川改修に伴う家屋移転の促進を図るためには、土地の確保が重要と考えています。今後の家屋等の移転交渉、移転先の確保については、地権者の方々と早い段階から真摯に

移転者等の土地確保について

町長 移転先の土地確保については、どのような考えを持っているのか伺います。

町有地及び民有地の土地所有者の協力を得て移転先の確保に努める

町長 右支夏井川河川改修に伴う家屋移転の促進を図るためには、土地の確保が重要と考えています。今後の家屋等の移転交渉、移転先の確保については、地権者の方々と早い段階から真摯に



▲増水する右支夏井川(平成25年9月の降雨時・荒町地内)

取得を視野に入れ、ミニ
区画整理等を検討して
まいりたいと考えてお
ります。

改修事業の進捗状況 について

問 河川改修事業の進
捗状況について、平成
25年度は移転家屋の補
償調査を数件実施した
と聞いていますが、そ
の後の計画について予
算面を含め、どのよう
に進捗しているのか伺
います。

引き続き用地及び 補償の協議を進める

町長 平成25年度の事
業進捗については、家屋等
物件調査を18件実施
し、計画的に用地及び
補償の協議を進めてい
ると県から聞いていま
す。平成26年度につい
ては、まだ事業費の確定
はされていませんが、浸
水被害地区を優先に物
件調査を実施し、引き
続き用地及び補償の協
議を進めていくこのこ
とであります。

公立小野町地方総合病院の 跡地利用について

病院跡地利用計画について

問 現病院取り壊し後
の土地を、例えば右支
夏井川河川改修におけ
る移転者の移転先、ま
たは移転者の集合住
宅及び町営の雇用促
進住宅等に利用できる
のではないかと思いま
すので、早期に跡地利

用の計画をしてはと思
いますが、町長の考え
を伺いたい。

早期に利用計画を策定する

町長 速やかに敷地
の利活用が図れるよ
う、右支夏井川河川改
修における移転者の
住宅敷地を含め、他の

公共施設の建設敷地
など検討の上、早期に
利用計画を策定した
いと考えてあります。



▲現在の公立小野町地方総合病院

平成26年度当初予算について

当初予算における 町長の重点施策は

問 当初予算の中に町
長自身の考えがどの事
業に反映されているの
か伺います。

緊急性や費用対効果
を精査し当初予算を
編成した

町長 平成26年度当
初予算はまず、東日本
大震災からの復興を

対応し、将来的な意向
調査を行い、移転先の確
保について町有地及び
民有地の土地所有者の
ご協力を願いながら、数
多くの土地情報を提供
し、現居住地の近辺に住
んでいただけるよう努
めてまいります。

地域整備課長 物件
調査を早急を実施する
よう県に要望し、あわせ
て町有地及び民有地の
移転適地について情報
収集を図り、地権者の皆
さんの希望に沿えるよ
う協議してまいりたい
と考えております。

また、まとまった移転
候補地については、町で

最重要課題として取
り進むこととしてお
りました。特に、農業、
商工業、観光分野を中
心とした風評払拭の
ための施策を優先し、
震災以降における町
の閉塞感の打破と町
なかににぎわいを取り
戻すための様々なイベ
ントの開催さらに入

口減少に歯どめをか
けるための諸施策を
行うことといたしま
した。
次に、現在取り組ん
でいる振興計画の後
期基本計画の中で検
討された重点事業に
ついては、優先的に取
り進むこととしまし
た。



竹川里志 議員

公立小野町地方総合病院について

病院建設の進捗状況 について

問 新病院建設の進捗
状況と周囲の環境整備
をどのように進めてい
るのか、また、周辺地域
の住民には今後どのよ
うな周知説明をしてい

くのか。

**町広報紙等を活用して
周知に努める**

町長 現在、新病院建
設工事は地盤改良工事
が終了し、基礎工事を
実施中で、4月上旬に



▲新築工事中の公立小野町地方総合病院

は建物躯体工事の予定
であります。
次に、周囲の環境整備
については、水野正廣議
員に答弁したとおりで
あります。
周辺住民に対する周
知説明については、病院
ホームページに工事の
進捗状況が随時掲載さ
れておりますが、必要
に応じて町広報紙等も
活用しながら周知に努
めてまいります。

**平成27年1月開業に
向けた医療体制について**

問 新病院の医療体制
は万全の形で開業でき
るのか。

医療体制支援に努める

町長 公立小野町地方
総合病院において、病氣
の予防から医療、福祉
介護、更には救急医療と
総合的包括的医療を提
供されることはまさに
理想とするところであ
りますので、地域の
医療福祉
関係者、企
業団、ある
いは企業団
議会とも
連携し、町
民皆さんの
医療福祉
の向上が図
られます
よう医療、
医師確保
等について
支援してま
いります。

田村地方の住民の安心・ 安全な生活のために

町長 現在田村3市
町において夜間の急病
に対応できるような体
制がなく、地域住民の
1次救急医療体制の整
備などを主な目的と
して田村地方夜間診療
所が開設されたもので
あります。運営は田村
医師会、田村薬剤師会

企業誘致雇用対策について

企業誘致の進捗と現在の 雇用対策について

問 2月28日、株三宝製
作所と鶴庭工業用地に
新工場立地に関する基
本協定を締結しました
が、現在の鶴庭工業用地
に立地するための環境
整備は十分であるのか。
また、これから小野町

の協力を得て田村市が
行うものであります。
田村地方夜間診療
所の開設は、田村地方
の住民の安心・安全な
生活につながるものと
期待するものでありま
すが、町内における夜
間診療体制整備の必
要性は依然として大
きな課題として残って
おりますので、一刻も早
く公立小野町地方綜
合病院における休日及
び夜間診療と救急医
療の再開に向け、医師
確保等に努めてまいり
ます。

への企業進出、国県によ
る立地補助事業の活用
に向けた企業の動き、新
たな工業団地の増設の
考え、雇用環境の改善や
来年度に向けた学生の
新規雇用対策をどのよ
うに考えているのか、企
業誘致と雇用対策の2
点について伺います。

様々な雇用対策を展開したい

町長 (株)三玉製作所では、今年の10月の操業開始に向け事業を進めることとなりますので、町としても可能な限り支援と協力を行っていきたく考えています。

新たな企業誘致の動向については、現在鶴庭工業用地上段部分に対し企業から問い合わせがある状況であります。



▲工場立地が決まった鶴庭工業用地

また、新たな工業団地の考えについては、当面は鶴庭工業用地上段部分の誘致に向け全力で取り組む考えであります。

新たな工業用地の整備については、企業誘致の動向など様々な状況を見極めながら検討してまいります。

次に、雇用対策については、時代の変化に対応した雇用対策が必要であると考えます。

具体的な雇用対策の内容容については、企画商工課長が答弁いたします。

企画商工課長

今年度より、町内在住の高校生卒業者及び小野高校新卒者を対象とした雇用促進奨励金制度を創設し、人材確保の取り組みを図っているところであり、来年度は、雇用対策の拡充を図るため、対象者を大学などの新卒者までとした事業費を当初予算に計上しました。

その他に、町が企業と小野高校とのパイプ役として情報交換、意見交換の場を提供し、若者への就職支援や企業への雇用確保支援を図っております。

短期的就労機会についても、県の緊急雇用創出基金事業を活用し、求職者の雇用の場を確保するとともに、小野町無料職業紹介所においても、公共職業安定所と連携し新規就労を支援してまいります。

人口減少にどう対応するか

町長 人口減少に伴い地域のコミュニティの機能が低下し、緊急医療や教育、商店の買い物など日常生活に必要なサービスを受けられない地域が出ています。人口減少問題は国の施策の影響を大きく受けますが、この人口減少に対する町の取り組みを伺います。

定住定着が図られる施策を展開する

町長 地域の魅力を高め、その魅力を最大限発信し、交流や永住の増加につなげていくことが必要であります。永住促進を図る上で、企業誘致による雇用の場の確保が重要であると考えており、自らが町の魅力を積極

的に情報発信してまいります。また、定住人口の増加対策には企業誘致による雇用機会の創出以外にも、少子化対策や若者などの定住しやすい環境整備が大切であると考えています。更にふるさと暮らし支援センターの連携による定住2地域居住推進事業や地域おこし協力隊の設置事業など、町に定住定着が図られるよう進めていく考えであります。

過疎地域指定について

町長 報道内容のとおり過疎法に基づく過疎地域の要件見直しが行われ過疎地域の指定を受けます。国の財政支援などが受けられる過疎地域に指定し、4月からの適用を目指すことありますが、過疎地域に指定された場合の町の対応について伺います。

過疎計画策定の準備を進める

町長 報道内容のとおり過疎法に基づく過疎地域の要件見直しが行われ過疎地域の指定を受けます。国の財政支援などが、地域活性化事業の推進が期待できます。今後、国会の動向を注視し、過疎地域に指定された場合には、国の支援を受けると必要を過疎計画を策定するため、県と協議、連携を図りながら準備してまいります。

再質問

安全で安心して暮らせる定住住宅を提供する予算が本議会に提案されていますが、整備計画の内容を伺います。

町長

平成26年度一般会計予算に公営住宅の設計予算を計上しました。規模については私の考えでは2階建ての10戸が入居できるというようなものを考えています。

議会活動日誌

2月 February

10日 ■小野町議会2月第1回会議
■月例全員協議会

14日 ■議員研修会

16日 ■第30回B&Gビーチバレーボール行政
区親善交歓会(町民体育館)

17日 ■郡山地方広域消防組合議会2月定例会
(郡山市)

21日 ■第28回B&G杯室内ゲートボール大会
(町民体育館)

■全員協議会
■企業対策特別委員会

24日 ■福島県町村議会議長会第2回定期総会
(福島市)

25日 ■例月出納検査

28日 ■田村地方町村議会議長会自治功労者表彰式

3月 March

1日 ■福島県立小野高等学校卒業式

6日~14日

■小野町議会定例会3月会議

10日 ■葉たばこの播種状況視察

13日 ■浮金中学校卒業式
■小野中学校卒業式

14日 ■月例全員協議会
■企業対策特別委員会

16日 ■第38回小野町スポーツ民謡協会総会
(多目的研修集会施設)

18日 ■小野わかば幼稚園卒園式

19日 ■浮金つじ児童園卒園式

20日 ■飯豊小学校卒業式
■浮金小学校卒業式

■小野新町小学校卒業式
■夏井第一小学校卒業式

■小野町交通対策協議会(多目的研修集会施設)

22日 ■浮金中学校閉校式
■田村地方夜間診療所開所式(田村市)

24日 ■例月出納検査

25日 ■田村地方市町議会議長会(三春町)

26日 ■郡山地方広域消防組合議会第1回
臨時会(郡山市)

27日 ■中央さくら保育園卒園式
■夏井おおすぎ保育園卒園式
■飯豊ひまわり保育園卒園式

3日 ■中央さくら保育園入園式
■夏井おおすぎ保育園入園式
■飯豊ひまわり保育園入園式

7日 ■飯豊小学校入学式
■浮金小学校入学式

■小野新町小学校入学式
■夏井第一小学校入学式

■小野中学校入学式

8日 ■小野わかば幼稚園入園式
■浮金つじ児童園入園式

9日 ■福島県立小野高等学校入学式

10日 ■月例全員協議会

16日 ■田村地方町村議会議長会総会

20日 ■第29回小野町長杯ゲートボール大会

21日 ■企業対策特別委員会企業訪問
(神奈川県相模原市)

25日 ■例月出納検査

26日 ■夏井千本桜まつり

27日 ■小野町消防団春季検閲式

29日 ■こまち桜回廊まつり(商工会前広場)

4月 April

議会活動トピックス



2月14日

福島大学の荒木田准教授を講師にお招きして、「地方議会のあり方について～事実とデータに基づいた政策形成～」をテーマに議員研修を行いました。



3月10日

葉たばこの播種状況を視察しました。



4月21日

鶴庭工業用地に工場立地予定の(株)三宝製作所を訪問し意見交換を行いました。

●あしがき●

桜の季節からつつじへ初夏を
思わせる季節になってまいりま
した。議会におきましては、今年
1月から、一年間を議会開会中と
する通年議会とし、委員会活動
や各種団体との意見交換を随
時、積極的に進めたい活動範囲を
広げたいと考えています。

その議会状況や町の政策など
を、町民の皆さんにお知らせす
る広報紙が「議会だより」であり
ますので、モニター制度の活用な
ども検討し、より良い紙面づく
りに努めてまいりますので、よ
ろしくお願ひします。

議会広報編集委員会委員長
村上 昭正

